

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成22年6月17日(2010.6.17)

【公開番号】特開2007-316621(P2007-316621A)

【公開日】平成19年12月6日(2007.12.6)

【年通号数】公開・登録公報2007-047

【出願番号】特願2007-113418(P2007-113418)

【国際特許分類】

G 0 3 F 7/36 (2006.01)

G 0 3 F 7/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 F 7/36

G 0 3 F 7/00 5 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月23日(2010.4.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一部分を液化することが可能な組成物層を含む感光性要素からレリーフパターンを形成する方法であって、

前記組成物層を、前記層の一部分が液化し前記層の 1 種または複数の有機化合物が蒸気を形成するのに十分な温度に加熱するステップと、

前記蒸気を酸化して酸化温度で清浄空気を形成するステップと、

前記蒸気と清浄空気とを熱接触させて、酸化する前に蒸気を予熱し、酸化温度未満に清浄空気を冷却するステップとを含むことを特徴とする方法。

【請求項 2】

加熱前に化学線により前記感光性要素を画像通りに露光するステップと、

前記組成物層の前記液化した材料の少なくとも一部分が現像媒体によって除去されて前記レリーフパターンを形成することができるように前記感光性要素を前記現像媒体と接触させるステップとをさらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の方法によって作製されることを特徴とするフレキシソ印刷フォーム。

【請求項 4】

一部分を液化することが可能な組成物層を含む感光性要素からレリーフパターンを形成する装置であって、

前記組成物層を、前記層の一部分が液化し前記層の 1 種または複数の化合物が蒸気を形成するのに十分な温度に加熱する手段と、

前記蒸気を酸化して酸化温度で清浄空気を形成する手段と、

前記蒸気と清浄空気とを熱接触させて、酸化する前に蒸気を予熱し、酸化温度未満に清浄空気を冷却するための熱交換器とを備えることを特徴とする装置。